


なかま

カルダー先生の叙勲



今年の秋の叙勲で、本校のカルダー前理事長・現理事（以降「カルダー先生」と表記）が旭日単光章の叙勲を受けました。カルダー先生の功績概要を拝読すると実に数々のご功績を挙げられてこられました。その中でも特に、私たちが感謝申し上げますのは、本校におけるご活躍です。カルダー先生は、ここプリンストン日本語学校で、小学部から高等部にわたる継承日本語教育のカリキュラム、教材、指導方法などの開発の創始者として活躍してこられました。就任して早々、高等部の日本語（国語）のクラスを日本に帰国して大学進学する生徒と、在米の大学に進学して長期滞在となる生徒の2クラスの選択制に変更・設置し、長期在米生徒のためのカリキュラムを開発されました。平成12年には同校のカリキュラム委員長に就任され、補習授業校で従来から実施されてきた日本国内準拠の国語教育とは違った継承日本語教育への対応が必要であることを痛感し、平成16年同校理事に就任されこと機に、継承日本語教育に対応した永住型児童のための小学部「中間コース」（後のプリンストンコース）のカリキュラム開発、及びコース設置に尽力されました。平成18年には同校の第5代理事長に就任し、平成19年には懸案となっていた中等部の「プリンストンコース」のカリキュラム開発、そして設置に尽力され、その結果、プリンストン日本語学校は、従来の日本国内準拠の補習授業校の形態だけでなく、北米で初めての永住の家庭や国際結婚による家庭の子ども達が、継承語として日本語を体系的に学ぶことのできる補習授業校となりました。先生は平成18年4月から平成27年3月まで、同校理事長の要職に就き、この間数多くの卒業生を送り出して、多くの卒業生が日米両国の様々な分野で活躍しています。◆カルダー先生のような業績を基に、リー季里現理事長、小野桂子教育第2部長をはじめ教育第一部、第二部の教師、そして保護者・子どもたちが力を合わせ、プリンストン日本語学校の充実と発展に努めているところです。カルダー先生には改めて受章のお祝いを申し上げますとともに、先生の受章が、本校教育に関わる多くの者にとって、喜びと励ましとなりましたことに感謝申し上げます。

プリンストン日本語学校
 平成27年度 No.25
 平成27年11月8日
 文責 荒川雄之 arakawa@pcjls.org



お知らせ

◇セキュリティについて(再掲)

11月1日より、改めてセキュリティの強化が行われています。先週配信されましたメールに具体的な方法が日・英文で記載されています。登校の際に混乱が起きないように、今一度ご確認ください。それに伴い、日曜当番の方には業務内容・方法に若干の変更が行われる予定ですので、ご協力をお願いします。再三お願いしていることではありますが、これを機に**ネームタグの着用の徹底**をお願いします。

◇平成28年度小学一年生募集説明会

標記の説明会が、**11月8日13時**から実施されます。教育第一部・教育第二部の小学一年生への入学を希望される保護者の皆さんはご参加ください。詳細につきましては、本校HPに掲載されていますので、ご参照ください。



◇平日オフィスの開所日について

サンクスギビングデーに伴い、11月26日・27日は平日オフィスを閉所いたします。つきましては11月25日以降のオフィス開所は、12月1日となりますので、ご了解ください。

今後の予定

- 11月8日 表現学習発表会 14:50～ (science棟)
平成28年度小学一年生募集説明会
- 11月15日 表現学習発表会 14:50～ (science棟)
- 11月22日 学芸発表会 (幼稚部) 係打ち合わせ
- 11月29日 学芸発表会 (幼稚部) リハーサル
学習発表会係打ち合わせ
- 12月6日 学習発表会リハーサル
- 12月13日 学芸・学習発表会

第33回補習授業校派遣教員研究協議会

11月2日、3日に開催された標記の協議会に参加してきました。文部科学省・外務省・海外子女教育振興財団理事長・全海研会会長を交え、全米各地とともに欧州・オセアニア・アジア各地の補習授業校の校長が集まり、補習校の現状と課題について活発な競技が行われ、私も勉強させていただきました。



「読書の木」

先日紹介した読書の木。こちら大きく育って来ています。子どもたちへの応援をお願いします。

